

2015.5.21

曲阜師範大学  
交換留学レポート 2 号

国際文化学科 3 年 13011006 伊東万里子

### 大学施設・周辺施設の紹介（曲阜師範大学）

#### ●教室の紹介

交換留学レポート 1 号でも説明したように、私たち留学生が普段使っている教室は寮と渡り廊下でつながっています。このおかげですぐ授業に行くことができます。留学生が使っている教室は全部で三つあり、クラスも三つなので 5 階が A 組、4 階が B 組、3 階が C 組と、クラスごとに使う教室が決まっています。どの教室も同じ広さで、25 人程度座れます。ちなみに、私達のクラスは韓国からの学生が 8 割、その他の国はカナダ、ブルガリア、ロシア、カンボジアからの学生がいますが、授業中に教室一番前の席は進んで座ることはないように感じます。遅く来た人が、席がなくて仕方なく一番前に座ることが多いです。もし中国の学生がいたらその文化は少し変わるのかもしれない。

<教室に向かう渡り廊下>



<教室内の様子>



授業中はホワイトボードを使うこともありますが、その左横の黒色の電子画面をよく使います。電子画面に先生のパソコン画面が映し出されるので、先生が新出単語や例文を打ったり、写真や中国の映画、動画、ミュージックビデオなどを見せたりしてくれます。

### ●大学内施設の紹介

大学敷地内には各学科の校舎、図書館、ホテル、国際文化交流学院（留学生寮、教室）、先生方のアパート、運動場、小さな公園などがあります。中国人学生の寮は北門を出たすぐ近くにあります。大学の図書館は5階建てで中にカフェや売店、自習室があります。この自習室は早朝や夕方、夜に利用する人が多いです。外の広場でも昼夜を問わず、英語などの音読をする人、本を読む人、勉強する人、ベンチで寝る人などを見かけます。また、夜の運動場はトラックを走ったり、運動をしたりする人でいっぱいです。私も友人と軽いジョギングをしに夜に行ったのですが、明かりがなく薄暗いので、人が多くても比較的恥ずかしがらず運動ができました。中国の大学生はだいたい寮に住んでいて大学付近で一日中過ごすため、大学施設が充実しているのではないかと感じます。また、朝6時7時ごろに公園に行くとお年寄りが運動器具を使って運動をしています。中国の人々は年代関係なく、健康のために運動を好む人が多いと感じました。

<運動場。先日運動会がありました。>



<公園の運動器具>



### ●大学付近施設の紹介

曲阜師範大学日照キャンパス付近には他学校が6つ程度あり、ここ一帯を大学城と呼びます。ですので、大学付近に多くの食堂、レストラン、スーパーマーケット、服屋、雑貨屋、パン屋、カフェなどがあります。また、先ほども述べたように中国人学生の寮もあります。食事については、寮生活をしている学生のためにほとんど全てのお店は持ち帰りができます。おかずやお米のみならず、スープや水餃子やそのタレなど汁物もビニール袋に入れて持ち帰ることができます。

< 中国人学生の寮 >



< 周辺のお店の様子 >



夜になると曲阜師範大学北門付近に毎日夜市が開かれるので、昼とはまた雰囲気の違いで夜市の食べ物や買い物を楽しめます。夜市には季節の果物も売っていて、日本よりも安く手に入ります。例えば苺が 500 グラム 6 元程度、バナナや梨、りんごが 500 グラム 2.5 元程度で買うことができます。

ちなみに、夜市以外にも大学から徒歩 15 分ほどの場所に、陰暦の 5 がつく日の午前中開かれる市場があります。その市場は野菜や果物、魚、肉中心で、他には衣類、靴、農具、トイレトペーパーなども売られています。食材の値段は夜市よりも安いです。

< 市場の様子 >



< 市場の果物 >



以上で 2 回目の現地レポートを終わります。